

平成 29 年度 決算

普通会計 決算 認定 特別委員会 説明資料

教育委員会

目 次

I	平成29年度教育委員会主要施策の成果の概要	1
II	主要事業の内容及び成果	4
III	歳入歳出決算額	16
1	一般会計決算額	16
(1)	歳入決算額	16
(2)	歳出決算額	17
2	特別会計決算額	18
(1)	歳入決算額	18
(2)	歳出決算額	18

I 平成29年度教育委員会主要施策の成果の概要

〈徳島教育大綱（平成27年度～30年度）の基本目標〉

『とくしまの未来を切り拓く，夢あふれる「人財」の育成』

1 地方創生から日本創成へ！「徳島ならではの」教育の推進 （施設整備課，教育創生課，学校教育課，特別支援教育課，体育学校安全課）

（1）個性，可能性を最大限に伸ばす教育の推進

変化の激しい時代を生きる子供たちが，それぞれの個性や能力に応じてこれからの社会を生きぬいていく力を身に付け，可能性をしっかりと開花させる教育を推進するため，「多様で特色ある能力・個性を伸ばす教育の推進」，「次代を生きぬくキャリア教育の推進」，「障がいによる困難を克服し，個性輝く自立を支援」を三本柱とした事業を展開した。

特に，農工商一体教育，高大接続教育，産業界連携研究を行う「阿南光高校」の開校準備，6次産業化に対応した城西高校「アグリビジネス科」の教育環境整備を進めるとともに，家庭，地域，経済団体，企業等と積極的に連携した「キャリア教育」の推進，特別な支援を必要とする子供たちのさらなる活躍を目指した事業を実施した。

（2）人口減少社会に挑戦する「徳島モデル」の学校づくり

小規模化する学校を存続させ，かつ教育の質を保障する徳島モデルの小中一貫教育として「チェーンスクール」，「パッケージスクール」のさらなる推進を図るとともに，二地域居住を促進するため，地方と都市の学校間異動を容易にする「デュアルスクール」の実証研究によるモデル化の推進，教育の多様性と効率化に向けた学校におけるICT環境の充実を進めた。

（3）災害を迎え撃つ防災教育の推進

南海トラフ巨大地震をはじめとする自然災害等から，児童生徒が自らの命を守り抜くため，主体的に行動する態度の育成や，安全で安心な社会づくりに貢献する意識の向上を図った。

そのため，中学校，高校の「防災クラブ」の体制づくりを促進するとともに，全国に先駆けて取り組んでいる高校生の「防災士」資格取得を一層推進した。

また，児童生徒が，安全・安心に学ぶことのできる教育環境の実現に努めるとともに，県立学校については，中核的な避難所として機能するように，施設・設備の強化・充実を進めた。

2 一人ひとりが輝く！徳島の未来を育む教育の推進

(教育政策課, 教育創生課, 教職員課, 福利厚生課, 学校教育課, 人権教育課, 体育学校安全課, 生涯学習課)

(1) 確かな学力, 豊かな心, 健やかな体の育成

子供たちが, 心身ともに健康で, 幅広い知識や教養, 豊かな情操, 道徳心などをバランスよく習得し, 総合的な人間力を高めるため, 「確かな学力」, 「豊かな心」, 「健やかな体」を育成する教育を推進した。

特に, 本県独自の「学力状況調査」の実施や, 集中的, 継続的な「授業改善」等による「学力の向上」にしっかりと取り組むとともに, スクールカウンセラー等による教育相談体制の強化, 子供たちの「体力の向上」さらには健康課題である「肥満予防」, 「肥満対策」, 「生活習慣の改善」に向けた取組を進めた。

また, すべての人の人権が尊重される社会の実現に向けて, 学校の教育活動全体を通じて人権教育を推進した。

幼児教育においては, 幼稚園と保育所, 認定こども園, 小学校との連携・接続を強化し, 発達や学びの連続性を踏まえた教育活動を推進するとともに, 家庭, 地域社会の教育力を生かしたネットワークを構築することにより, 幼児期の成長を支える取組を推進した。

(2) 未来を拓く教職員の育成

すべての教職員が主体的に学び, 自己を高め, 学校目標を達成できるよう, ライフステージに応じた体系的な研修の実施や心身の健康保持・増進, ワークライフバランスの浸透を図るとともに, 一人ひとりの児童生徒に向き合う時間を確保するため, ICTの利活用をはじめ, 業務改善や勤務時間管理等について, 現場目線で議論を進め, 教員の働き方改革を推進した。

(3) 学校・家庭・地域が協働で取り組む教育の推進

地域総ぐるみで未来を担う子供たちの成長を支えるため, 地域住民等の参画により, 学校・家庭・地域が連携・協働して, 学校教育活動を支援する体制を整備し, 放課後や週末等における豊かな教育環境づくりを進めた。

また, 家庭教育に関する研修会などにおける中心的な役割を担う人材を育成し, 家庭教育力の向上と社会全体で家庭教育を支援する気運の醸成を図った。

(4) 時代の潮流を見据えた学びの推進

幼稚園・小学校・中学校・高等学校における発達段階に応じた体系的な取組など, 全国モデルとなる「消費者教育」の一層の推進を図るとともに, 「エシカル消費」に先進的に取り組むリーディングスクールの指定, 「高校生エシカル消費推進サポーター」の育成など, 「エシカル消費」の実践的な取組を推進した。

また, 徳島ならではの商品開発から販路拡大を行う「6次産業化実践教育」のさらなる進化・発展に取り組んだ。

さらには, 選挙管理委員会と連携し, 社会に参加し, 自ら考え, 自ら判断する主権者を育成するための「主権者教育」の充実に取り組んだ。

3 グローバル社会で活躍！徳島から世界への扉をひらく教育の推進

(施設整備課，学校教育課，体育学校安全課，教育文化課，文化の森振興本部)

(1) 徳島を愛する心の育成と「とくしま回帰」の促進

「ふるさと徳島」への誇りや郷土を愛する心を醸成するため，伝統文化や文化財の継承に資する教育を進めるとともに，「あわ文化」の魅力を県内外に発信する「あわっ子文化大使」の育成や活躍の場の拡大を図った。

また，人道的な処遇により，奇跡の収容所と言われる「板東俘虜収容所関係資料」のユネスコ「世界の記憶」登録に向けた取組を推進した。

(2) 世界に羽ばたくグローバル人財の育成

本県独自の取組である「Tokushima英語村プロジェクト」において，コミュニケーション能力，語学力はもとより，総合的な人間力を高め，次代のトップリーダーとして育成し，世界に羽ばたく教育を推進した。

また，「先進とくしま『世界とつながる英語力』育成事業」として，中学校，高校の全ての学年で，生徒の英語力の検証・分析を行うとともに，教員の指導力・英語力向上にも取り組んだ。

さらには，海外留学や海外大学進学を目指す中学生，高校生の支援も拡充することなどにより，グローバルな視点と地域（ローカル）の視点を兼ね備えた世界を舞台に活躍できるグローバルな人財の育成に努めた。

(3) 国際舞台で躍動するアスリート，アーティストの育成

東京オリンピック・パラリンピックや今後，四国で開催される予定の全国中学総体，高校総体に向け，将来性，潜在能力の高い人財を発掘し，トップレベルの競技者へと育成するため，トップスポーツ校による重点的な競技力の強化のみならず，今後，入賞が期待できる競技に対しても積極的に支援を行った。

また，徳島ならではの「レガシー」として未来に継承されるよう，県立学校の「スポーツ施設」をワンランク高い次元へ整備を進めた。

さらには，東京オリンピック・パラリンピックの「文化プログラム」を見据え，世界に向けて「あわ文化」を発信するため，「阿波藍」，「阿波おどり」，「阿波人形浄瑠璃」，「ベートーヴェン第九」といった「あわ文化」の継承・普及に取り組む児童生徒の活動を支援するなど，文化芸術力の強化に取り組んだ。

(4) 世界に輝く「あわ文化」の創造・発信

本年，開館100周年を迎える「県立図書館」において，新たな100年を見据え，「知の拠点」としての機能強化を進めるとともに，「あわ文化発信拠点」文化の森，「歴史文化発信拠点」レキシルとくしまにおいても，それぞれの取組を拡充し，さらなる魅力発信に努めた。

Ⅱ 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
1 地方創生から 日本創成へ！「徳 島ならではの」の 教育の推進	「新未来創生キャンパス（仮称）」創造推進事業	<p>高校を核とした「まち・ひと・しごと創生モデル」を実現し、地域の未来を担う人財を育成するため、高大連携や地域・民間連携の拠点となる高校・大学・地元企業が一体化したキャンパスの創出に向け、高大接続教育や共同研究等を推進した。</p> <p>(7,019)</p>
	阿南工業高校・新野高校再編統合推進事業	<p>阿南工業高校と新野高校を再編統合し、平成30年度に開校する阿南光高校において、6次産業化をはじめとした農工商一体の教育を推進するため、必要な実習機器を宝田キャンパスの改築校舎に導入し、教育環境を整備した。</p> <p>(27,178)</p>
	6次産業化実践教育ステップアップ事業	<p>6次産業化教育に対応し、地域の活性化を担う即戦力となる人材を育成するため、農業・工業・商業科設置校等が連携し、6次産業化商品の開発を通して、「6次産業化をプロデュースする人材」を育成する実践的取組を進化・発展させるとともに、城西高校の6次産業化専門学科「アグリビジネス科」における実習棟の備品整備を実施した。</p> <p>(34,288)</p>
	「阿波の元気もり森」推進事業	<p>豊かな森林資源の未来を創造できる人材を育成するため、那賀高校と池田高校三好校を実践校とし、林業教育を基盤とした新たなキャリアパスシステムを構築し、推進した。</p> <p>(15,470)</p>
	未来へつなぐ「キャリア教育」推進プロジェクト	<p>児童生徒のしっかりとした勤労観や職業観を確立し、社会で活躍できる人財の育成を図るため、家庭や地域、経済団体等と連携し、起業体験的活動、高校生による「ものづくり」発信、中学生への専門高校PRイベントや徳島で活躍する企業を見学するバスツアーの開催等、多様なキャリアパス実現のための事業を行った。</p> <p>(8,718)</p>

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
1 地方創生から 日本創成へ！「徳 島ならではの」の 教育の推進	スーパー・プロフェッショナル ハイスクール事業	平成27年度から3年間文部科学省より指定を受け、「DEEP IN TO KUSHIMA」～徳商版「地域創生」人材育成プロジェクト～をテーマに、地域のことを深く知り、地域の魅力を発信できる人材、そして、地域社会に貢献するグローバル人材の育成とそのモデルカリキュラムの開発・研究に取り組んだ。 (3,700)
	スーパーオンリーワンハイ スクール事業	高校生自らが地域の課題解決に向けた活動を通じて、魅力ある学校づくりや地域を活性化させることを目的とし、実施校の取組を支援するとともに、生徒活動発表会の開催や発表要旨集を発刊して、その成果を広報した。 (9,721)
	「NIPPON」探究スクー ル事業	我が国と郷土を愛し、他国を尊重する態度と心を育成するため、主として明治から昭和における歴史を紐解き、各時代における世界の中の「NIPPON」,「NIPPON」の中の徳島について探究する学校を育成するとともに「公共」について考える取組を支援した。 (1,098)
	特別支援学校「みんなが主 役」きらめき事業	特別支援学校の児童生徒一人一人が「主役」となり、将来にわたって地域で活躍できる力を身につけるため、文化的な体験学習や職業スキルを活かしたフェスティバル、四国霊場札所でのお接待活動等を実施した。 (7,863)
	学校が変わる！「ポジティブ な行動支援」事業	障がい等のある児童生徒を含む学びにくさのある子どもへの支援を充実させるため、「発達障がい教育・自立促進アドバイザーチーム」と連携し、「ポジティブな行動支援」を取り入れた指導を実践するとともに、全国へ発信した。 (8,160)
	二地域居住を加速する「デュ アルスクール」実証事業	地方と都市の交流人口の増加による地方創生と少子化への対応、子どもの豊かな体験機会の提供による感性の育成を図るため、二地域居住にも対応した「新しい学校のかたち」のモデル化に向け、実証研究を行った。 (5,712)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
1 地方創生から 日本創成へ！「徳 島ならではの」の 教育の推進	人口減少社会における高校教育のモデル化事業	過疎・少子化の進行により小規模化が進む高校において、多様な教育活動や魅力的な事業の展開を維持し、生徒の学習ニーズに対応した授業を展開するため、ICT（テレビ会議システム）を活用した遠隔授業の実施体制を構築した。 (3,583)
	人口減少社会に対応した小中一貫教育推進事業	人口減少社会において小規模化する学校の課題解決のために、「チェーンスクール」及び「パッケージスクール」という2つの学校教育のかたち（徳島モデル）を県下全域に周知し、普及・推進を図った。 (4,210)
	県立学校Wi-Fi環境整備事業	災害時に避難した地域住民等の情報通信手段の確保を行い、迅速な災害復旧に取り組むため、避難場所・避難所となる学校の体育館、屋外運動場（グラウンド）、多目的教室にWi-Fi環境を整備し、学校の防災拠点としての機能強化及びICT環境の充実を進めた。 (54,611)
	進化する教室イノベーション事業	ICTを活用した「わかる授業」の効果を普及するため、モデル校の普通教室に移動式常設電子黒板を設置し、全ての授業で既存タブレットと連携させた、生徒の理解を深める授業実践を推進した。 (7,223)
	高校施設耐震診断・改修事業	阿南工業高校と新野高校の再編統合において、生徒の安全・安心を確保するため、平成30年度の新高校開校に向けて、耐震改修と一部改築を含めて一体的に整備した。 (2,791,471)
	県立学校避難所施設強化・充実事業	県立学校を中核的な避難所と位置づけ、避難所としての機能強化を図るため、屋外トイレ改築等、必要な施設の整備を行った。 (201,613)
	県立学校施設長寿命化推進事業	施設の長寿命化、ライフサイクルコストの縮減及び財政負担の平準化を図るため、県立学校施設の「長寿命化計画」を策定した。 (15,704)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
1 地方創生から 日本創成へ！「徳 島ならでは」の 教育の推進	高校生防災士育成・活躍推進 事業	「あわっ子防災士養成講座」を開催し、高校生の防災士資格取得を支援するほか、「防災クラブ」を拠点として、学校防災の牽引役、地域防災の若い活力として育成した。 (4,767)
	ふるさと大好き！地域防災推 進事業	全ての高等学校に「防災クラブ」を設置し、中学校にも設置を広げ、地域と連携した防災ボランティア活動等に取り組むなど、将来の防災の担い手の育成を図った。 (4,880)
	実践的防災・安全教育総合推 進事業	学校における安全教育の充実と推進を図るため、国費事業（防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業，学校安全教室推進事業）を活用し，災害安全，交通安全，生活安全の3つの分野において，研究・実践・研修に取り組んだ。 (2,960)
2 一人ひとりが 輝く！徳島の未 来を育む教育の 推進	学力向上「徹底」プロジェク ト	全国学力・学習状況調査で明らかとなった本県の課題を解決するため、1年間に複数回のPDCAサイクル確立に向けた県独自の学力・学習状況調査を実施するとともに、研究実践の拠点校及び課題解決に重点的に取り組む指定校を設定し、大学等の専門的知見・技術を生かした教員の指導力向上及び学校の教育力向上を推進した。 (11,162)
	めざせ!!「Super Student」プロ ジェクト	知・徳・体の調和が取れ、高い志を持ち、将来的に社会の各分野を牽引していく高い人間力を備えた「Super Student」育成を目的として、「徳島ウインターキャンプ」「科学五輪チャレンジ事業」「夢チャレンジアシスト事業」「Super Student サポート事業」を実施した。 (3,351)
	道徳教育総合支援事業	学習指導要領を踏まえて道徳教育の抜本的改善・充実を図るため、地域に根ざした創意工夫ある道徳教育の取組に対して支援を行うとともに、道徳教育に係る指導内容・方法等の周知を図った。 (3,886)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
2 一人ひとりが 輝く！徳島の未 来を育む教育の 推進	幼児教育推進体制構築事業	<p>「全ての幼児に提供される質の高い幼児教育」を目指し「徳島県幼児教育振興アクションプランⅡ」をより実効性のあるものとして推進するために幼児教育推進体制を構築し訪問指導の充実，保幼小連携・接続の普及，大学との連携を推進した。</p> <p>(4,789)</p>
	阿波っ子“いきいき”未来応援プロジェクト	<p>いじめや不登校などの児童生徒の問題行動等の未然防止や早期発見のためにスクールカウンセラーを各学校等に配置した。</p> <p>また，スクールソーシャルワーカーを市町村教育委員会に配置するとともに，学校問題解決支援チーム派遣として，より高度で専門的な知識を有するスクールプロフェッサー（医師，臨床心理士，社会福祉士等）を学校等に派遣し，教育相談体制の充実を図った。</p> <p>(99,817)</p>
	「性的マイノリティ」学校教育支援事業	<p>性的マイノリティに関する事案に対応するために，学校教育支援スタッフを各学校等に派遣し研修や教育相談を実施するとともに，教職員用ハンドブック「性の多様性を理解するために」を作成した。</p> <p>(1,957)</p>
	人権教育研究推進事業	<p>文部科学省「人権教育研究推進事業」の委託を受け，学校，家庭，地域社会が一体となった教育上の総合的な研究（人権教育総合推進地域事業）並びに学校における人権教育に関する指導方法の改善及び充実に資することを目的とした実践的な研究（人権教育研究指定校事業）を実施し，県内の人権教育の一層の推進を図った。</p> <p>(2,080)</p>
	人権教育研究指定校事業	<p>文部科学省指定の小学校・中学校に加え，県指定として幼稚園等と高等学校（特別支援学校を含む）において，人権尊重の精神の涵養を図るための学校教育の在り方についての実践的な研究を実施した。</p> <p>(360)</p>
	人権教育指導員委嘱事業	<p>園児・児童・生徒の人権意識の高揚と様々な人権問題の解決を図るため，人権教育指導員を選任し，県内すべての幼稚園・学校を対象に人権教育の指導を行った。</p> <p>(1,577)</p>

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
2 一人ひとりが 輝く！徳島の未 来を育む教育の 推進	中・高生による人権交流事業	県内の中学校・高等学校及び特別支援学校の生徒が交流し、人権について語り合うことを通して、人権尊重の理念についての理解を深めるとともに、人権意識の高揚を図り、様々な人権問題を解決する実践力を身に付けた生徒を育てることを目的として、「中・高生による人権交流集会」を実施した。 (1, 170)
	いのちと心のサポート事業	将来にわたり自他の生命を守ることができる児童生徒を育成するため、専門性・経験豊富な外部人材を活用した「いのちと心の授業」や、高等教育機関と連携した「徳島版予防教育」等、いのちと心について考えを深める取組を実施した。 (2, 335)
	体力アップ！サンライズ事業	運動習慣の確立や望ましい生活習慣を形成し、体力向上に向けた県民への啓発活動を行う事で、子供の体力・運動能力の向上を図るため、ICTを活用したランキングシステムによる「NEW キッズ&ジュニアわんぱくランキング」を実施した。 (422)
	元気なあわっ子！応援事業	徳島の未来を担うすべての子供たちの健康づくりを目指して、平成27年12月に制定した「元気なあわっ子憲章」の普及啓発を図った。 本県の子供たちの特徴的な健康課題である「肥満予防」「生活習慣の改善」を図るため、すべての公立学校で「生活習慣改善プロジェクト」を作成し、各学校の実情にあった取組を推進した。 学校、地域の講習会、研修会等に専門家を派遣し、学校、家庭、地域が連携して児童生徒の健康課題を解決するための体制づくりと取組を支援した。 また、専門家と連携し、研修会等を実施した。 小学生親子を対象に元気なあわっ子道場を開催し、小児期からの家庭での健康づくりを支援した。 (1, 408)
	「ふるさとの味」食育支援事業	学校を核として家庭・地域・関係団体等と連携しつつ、家庭における望ましい食生活の継続的な実践につなげるためのモデル校での事業を行うとともに、その成果を報告書の配布や成果報告会の実施により、県内に広く周知した。 (4, 023)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
2 一人ひとりが 輝く！徳島の未 来を育む教育の 推進	つながる読書推進事業	<p>学校・図書館・読書団体等が連携して読書に親しむ機会を提供し、子供たちの主体的な読書活動を支援するとともに、より一層の読書環境の整備を目的として、「高校生のための読み聞かせ講習会・実践会」の開催、「ブックリスト掲載本のコメント・POPカード」の募集、広く県民を対象とした絵本作家による講演会や、読書ボランティアの資質向上のための講演会を開催し、読書の裾野を広げる事業を展開した。</p> <p>(3, 893)</p>
	教職員研修費	<p>教職生活全体を通して、効果的・継続的に学び続け、自己を高める教職員を支える多様な研修講座を総合教育センターを中心に実施し、教育力の向上を図った。また、初任者研修における校内研修の指導員等を各校に派遣し、効率的・効果的な研修を推進した。</p> <p>平成29年4月1日の教育公務員特例法の一部改正法の施行をうけ、教員等が高度専門的職業としての職責、経験及び適性に応じて身に付けるべき資質・能力を示した「とくしま教員育成指標」を策定して周知を図るとともに、指標を踏まえてこれまでの研修体系を再構築し「とくしま教職員研修計画」(平成30年度から実施)を作成した。</p> <p>(23, 532)</p>
	教職員職場復帰支援事業	<p>職場復帰した教員のメンタル不調再発防止のため、復帰後のフォローアップとして、定期的に復帰者の在籍校へ臨床心理士を派遣し、本人及び管理職等に対して専門的な知見に基づく助言・指導を実施した。</p> <p>(326)</p>
	地域ぐるみの学校支援事業	<p>幅広い地域住民等の参画による学校の支援体制である地域学校協働本部(学校支援地域本部)の活動を推進した。また、中学生に対する学習支援として、地域未来塾を実施した。</p> <p>(5, 929)</p>
	放課後子供教室推進事業	<p>放課後や週末等の子供たちの安全な居場所を確保し、学習、スポーツ、芸術、交流などの活動を行う放課後子供教室を実施し、支援を行った。</p> <p>(44, 225)</p>

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
2 一人ひとりが 輝く！徳島の未 来を育む教育の 推進	週末等の教育支援体制構築事業	週末等（土曜日、日曜日、祝日）や長期休業日において、子供たちに地域人材による多様な学びや体験の機会を提供する取組を推進した。 (490)
	家庭教育推進・強化事業	各家庭で家庭教育に自主的に取り組むことができる環境を整備し、保護者同士が学び合うための学習用教材を増刷した。また、その活用を広げるためのファシリテーターを養成し、県内各所でワークショップを実施するために派遣した。さらに、PTA関係者等が参加する家庭教育に関する研修会、父親や祖父母世代を対象とした家庭教育に関する講座等を実施した。 (2,372)
	TOKUSHIMA 消費者教育活性化事業	「自立した消費者」育成のため、地域や関係機関等と連携し、幼稚園・小学校・中学校・高等学校における発達段階に応じた体系的な取組など、全国モデルとなる「消費者教育」を推進した。 (1,641)
	「Go!Go!エシカル」わくわく徳島プロジェクト	持続可能な社会の実現に向けた消費者力の育成のため、「エシカル消費」に先進的に取り組むリーディングスクールの指定、「エシカルクラブ」の設置など、「エシカル消費」の実践的な取組を推進した。 (4,581)
	学校における主権者教育推進事業	主権者教育に関する高等学校及び特別支援学校高等部担当教員の指導力向上のための研修や、児童生徒に対しての政治参加への意識を高めるために、大学教員や選挙管理委員会、県教育委員会指導主事等による出前講座等の実施により、主権者教育の一層の推進をした。 (1,025)
	輝け高校生！文化芸術創造・発信事業	高校生の文化力を全国に発信するため、平成27年に文化芸術リーディングハイスクールに指定した名西高校を文化芸術教育の拠点校として育成するとともに、阿波の伝統文化継承に取り組む学校や、文化活動の充実・発展に取り組む県高等学校文化連盟と協力し平成30年の本大会に向け、第38回近畿高等学校総合文化祭徳島大会のプレイベントを開催した。 (79,185)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
3 グローバル社会で活躍！徳島から世界への扉をひらく教育の推進	羽ばたけあわっ子！文化芸術共創・発信事業	徳島の伝統文化を担い誇りを持って県内外に発信し続ける人財を育み、中学生の文化芸術発信力を高めるため、県内全公立中学校1・2年生を対象とし「あわ文化検定」を実施するとともに「あわっ子文化大使」の育成を推進した。 (5,549)
	ユネスコ「世界の記憶」(記憶遺産) チャレンジプロジェクト事業	第一次世界大戦時のドイツ人捕虜収容所である「板東俘虜収容所」に関する記録物をユネスコ「世界の記憶」に申請・登録するため、鳴門市、ドイツ・ニーダーザクセン州及びリュネブルク市と協力し、申請書を作成するとともに、機運醸成を図る登録推進イベントを実施した。 (8,453)
	「あわの至宝」調査・発信事業	文化財保護意識の高揚や地域の活性化を図るため、県内文化財の新たな価値付けに向けた調査研究を進めた。 (2,572)
	いにしえから未来へ！「とくしまの歴史文化」発見・発信プロジェクト事業	発掘調査等で蓄積してきた出土品を次世代へつなげるとともに、文化財の魅力で徳島を元気にするため、4Kデジタルコンテンツの作成、講演会、展示会、学校文化財展及び文化財ウォーキング等を開催した。 (10,770)
	守護町勝瑞遺跡支援事業	本県を代表する歴史文化遺産である国史跡「勝瑞城館跡」を県内外に発信し、地域振興につなげるため、藍住町が実施する勝瑞城館跡の史跡整備を支援した。 (3,275)
	先進とくしま「世界とつながる英語力」育成事業	英語力の向上を図り、グローバル人材を育成するため、中学校1年生から高校3年生までを対象に「英語能力判定テスト」を実施した。また、中高の英語教員の指導力と英語力向上のため、全教員の資格取得を目指し、未取得者に対し、検定料の補助を行った。 (16,023)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
3 グローバル社会で活躍！徳島から世界への扉をひらく教育の推進	Tokushima 英語村プロジェクト・ステップアップ事業	小・中・高等学校を通じて英語でコミュニケーションを図ろうとする態度や能力の育成を図るとともに、広く世界に目を向け、国際協調の精神を育むため、小・中・高校生を対象に英語をベースに外国人と交流する取組を実施した。 (16,642)
	徳島グローバルスタンダード人材育成事業	友好協定を締結しているドイツ・ニーダーザクセン州や、アジア諸地域との間の学校間交流において、ツールとしての英語を用い、各学校の特色を生かしたより深化した学習を行った。 (26,310)
	帰国・外国人児童生徒“いきいき”事業	要望があった学校へ日本語講師を派遣し、日本語指導が必要な児童生徒への効果的な日本語教育を行った。また、日本語講師や教職員に指導のノウハウを教える研修を行った。 (4,821)
	外国人英語指導助手配置事業	招致した外国人英語指導助手を総合教育センター学校経営支援課に1名、県立高校に20名を配置し、配置校での授業や、学校訪問指導等において英語の指導を行った。 (100,779)
	英語教育強化地域拠点事業	阿波市立久勝小学校、伊沢小学校、林小学校、阿波中学校及び徳島県立阿波西高等学校において、グローバル化社会を生きるために必要な、語学力・対話力を備えた豊かなコミュニケーション能力を育むため、小中高で連携のとれた教育環境を整え、高校までを見通した教育課程や指導方法、評価方法の研究開発を行った。 (1,850)
	スーパーグローバルハイスクール事業	指定校に選ばれた徳島県立城東高等学校（全国123校の1校）において、「四国徳島発・グローバル企業の創造戦略について」を研究テーマに、国際化を進める大学（大阪大学、徳島大学）、グローバル展開する徳島発祥の企業（大塚グループ、日亜化学工業）と連携して、課題研究に係る4年目の取組を行った。 (5,957)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
3 グローバル社会で活躍！徳島から世界への扉をひらく教育の推進	海外における商業教育システム構築支援事業	<p>現地教員の育成と商品開発、生産、販売による「カンボジアー日本友好学園」の安定した学校運営のモデル化とともに、商品生産のための工場整備を実施した。</p> <p>(36,294)</p>
	県立学校スポーツ施設レガシー創出事業	<p>競技力の向上はもとより、スポーツを通じた地域の活性化を図るため、各種大会の開催を見据えて、県立学校スポーツ施設の整備を進めた。</p> <p>(14,102)</p>
	渦潮スポーツアカデミー推進事業	<p>未来のトップアスリートを徳島から発掘・育成・強化するため、鳴門渦潮高校をスポーツの拠点校として、県内アスリートの体力を科学的に測定・分析し、専門家のサポートを行ったほか、選考実技8競技への強化費支援、部活動指導者へのスキルアップ研修等を実施した。</p> <p>(5,296)</p>
	徳島トップスポーツ校育成事業	<p>本県高校スポーツの競技力向上と普及・振興を図り、全国大会で入賞できる部活動を育成するため、強化推進校・普及推進校、地域活性化校の3つのカテゴリーに分けて指定し、それぞれの特徴に応じた活動を支援した。</p> <p>(12,514)</p>
	あわスポーツ・ブルーミング戦略事業	<p>長期的な展望に基づき、競技団体と連携し、選手の育成・強化を図るため、県高体連へのトップスポーツ校以外への強化費助成、県中体連への四国・全国総体への強化費助成、県小体連への体操発表会、水泳検定、陸上競技記録会への助成を実施した。</p> <p>(7,030)</p>
	図書館100周年「知の拠点」事業	<p>平成29年に開館100周年を迎え記念式典、講演会を実施し、県立図書館の歴史や活動記録を記した「県立図書館百年史」「画文集図書館百年ものがたり」を発行した。</p> <p>また、新たな100年に向け「一歩先の未来を先取る図書館」を目指し、読書に親しむ習慣を育むため、子どもの本の図書の実を図り、「こども読書手帳」の発行、「100年たっても読みたい本」の選定、専門性を有する図書館の機能強化を図るため、大学図書館との連携協定に基づく連携協力事業を実施した。</p> <p>(9,774)</p>

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果												
3 グローバル社会で活躍！徳島から世界への扉をひらく教育の推進	ユニバーサルミュージアム展開事業	<p>障がい者、高齢者や子育て世代など、すべての人に配慮した環境を整備し、より多くの方々に美術を楽しんでいただくことを目的として、障がいのある人や幼児にも参加しやすい内容の催しや、支援学校・学級の受け入れ等を継続して実施した。</p> <p>また、障がいのある当事者に企画段階から参加していただき、教材づくりやビデオ等による事業内容の情報発信を行った。</p> <p>さらに、ヒアリンググループや iPad などの機器を導入することで催しが参加しやすいものとなるよう改善した他、スロープやサイン等を見直し、誰にも快適な観覧環境の整備をすすめた。</p> <p style="text-align: right;">(4,400)</p>												
	「博物館がつなぐ未来の徳島」推進事業	<p>幅広い世代に博物館の存在意義や徳島の魅力を再発見してもらうため、小学生とその保護者、中学生・高校生を対象とする「もっと徳島！ジュニア学芸員講座」、「自然と歴史の防災・減災推進事業」を実施した。</p> <p style="text-align: right;">(1,400)</p>												
	「未来の鳥居龍蔵」育成プロジェクト	<p>「未来の鳥居龍蔵」というべき人材の育成を図るため、県内の中学生・高校生を対象として、自主的研究成果を公募し、発表の場として「鳥居龍蔵記念 徳島歴史文化フォーラム」の開催、エクスカージョンの実施を通じて人的ネットワークを構築した。</p> <p style="text-align: right;">(900)</p>												
	文化の森各館企画展等開催費	<p>本県文化を先導する拠点としての役割を果たし、文化活動の活性化を図るため、文化の森各館において企画展等を開催した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">(1) 博物館</td> <td style="text-align: right;">3,847</td> </tr> <tr> <td>(2) 近代美術館</td> <td style="text-align: right;">17,540</td> </tr> <tr> <td>(3) 文書館</td> <td style="text-align: right;">587</td> </tr> <tr> <td>(4) 21世紀館</td> <td style="text-align: right;">2,869</td> </tr> <tr> <td>(5) 鳥居龍蔵記念博物館</td> <td style="text-align: right;">2,844</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">計 (27,687)</td> </tr> </table>	(1) 博物館	3,847	(2) 近代美術館	17,540	(3) 文書館	587	(4) 21世紀館	2,869	(5) 鳥居龍蔵記念博物館	2,844	計 (27,687)	
(1) 博物館	3,847													
(2) 近代美術館	17,540													
(3) 文書館	587													
(4) 21世紀館	2,869													
(5) 鳥居龍蔵記念博物館	2,844													
計 (27,687)														

Ⅲ 歳入歳出決算額

1 一般会計決算額

(1) 歳入決算額

(単位：円)

区 分	予算現額	調 定 額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予 算 現 額 と 収 入 済 額 と の 比 較
教 育 政 策 課	139,829,000	141,661,177	141,661,177	0	0	1,832,177
コンプライアンス推進室	0	0	0	0	0	0
施 設 整 備 課	782,220,000	780,121,303	780,121,303	0	0	△ 2,098,697
教 育 創 生 課	50,820,000	42,172,851	42,172,851	0	0	△ 8,647,149
教 職 員 課	11,617,127,000	11,636,423,536	11,636,423,536	0	0	19,296,536
福 利 厚 生 課	28,655,000	29,297,308	29,297,308	0	0	642,308
学 校 教 育 課	4,211,111,000	4,195,752,351	4,195,426,734	159,600	166,017	△ 15,684,266
特 別 支 援 教 育 課	77,671,000	72,899,082	72,899,082	0	0	△ 4,771,918
人 権 教 育 課	48,434,000	349,182,618	52,532,829	0	296,649,789	4,098,829
体 育 学 校 安 全 課	134,521,000	94,569,114	94,569,114	0	0	△ 39,951,886
生 涯 学 習 課	33,402,000	31,962,673	31,962,673	0	0	△ 1,439,327
教 育 文 化 課	374,649,000	328,444,876	328,444,876	0	0	△ 46,204,124
文 化 の 森 振 興 本 部	634,072,000	612,728,101	612,728,101	0	0	△ 21,343,899
計	18,132,511,000	18,315,214,990	18,018,239,584	159,600	296,815,806	△ 114,271,416

(2) 歳出決算額

(単位：円)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	予 算 現 額 と 支 出 の 比 較
教 育 政 策 課	1,378,230,000	1,357,466,135	0	20,763,865	20,763,865
コンプライアンス推進室	954,000	774,989	0	179,011	179,011
施 設 整 備 課	3,900,323,000	3,357,889,410	522,339,000	20,094,590	542,433,590
教 育 創 生 課	337,664,320	297,523,305	0	40,141,015	40,141,015
教 職 員 課	63,686,776,000	63,484,336,993	0	202,439,007	202,439,007
福 利 厚 生 課	7,724,154,000	7,331,471,418	0	392,682,582	392,682,582
学 校 教 育 課	2,635,965,000	2,604,850,017	0	31,114,983	31,114,983
特 別 支 援 教 育 課	163,745,000	146,309,080	0	17,435,920	17,435,920
人 権 教 育 課	179,331,000	169,668,550	0	9,662,450	9,662,450
体 育 学 校 安 全 課	202,061,000	156,049,190	0	46,011,810	46,011,810
生 涯 学 習 課	174,266,000	168,091,735	0	6,174,265	6,174,265
教 育 文 化 課	554,266,000	472,246,561	69,354,200	12,665,239	82,019,439
文 化 の 森 振 興 本 部	1,159,357,000	1,145,057,422	0	14,299,578	14,299,578
計	82,097,092,320	80,691,734,805	591,693,200	813,664,315	1,405,357,515

2 特別会計決算額

(1) 歳入決算額

(単位：円)

区 分	会 計 名	予算現額	調 定 額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予 算 現 額 と 収 入 済 額 と の 比 較
学 校 教 育 課	奨 学 金 貸 付 金 特 別 会 計	211,979,000	703,422,736	567,850,240	0	135,572,496	355,871,240
計		211,979,000	703,422,736	567,850,240	0	135,572,496	355,871,240

(2) 歳出決算額

(単位：円)

区 分	会 計 名	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不 用 額	予 算 現 額 と 支 出 済 額 と の 比 較
施 設 整 備 課	県 有 林 県 行 造 林 事 業 特 別 会 計	250,000	250,000	0	0	0
学 校 教 育 課	奨 学 金 貸 付 金 特 別 会 計	211,979,000	207,919,536	0	4,059,464	4,059,464
計		212,229,000	208,169,536	0	4,059,464	4,059,464